

タイトル	タクティール®ケアの導入及び職員への効果的な周知
------	--------------------------

事業所	社会福祉法人浴風会 特別養護老人ホーム 南陽園		
発表者：熊倉 直子（くまくら なおこ）	アドバイザー：		
共同研究者：榎本 典雅・飛弾 安吾			

電話	03-3334-2159	E-mail	nanyo@yokufuukai.or.jp
FAX	03-3334-1745	URL	http://www.yokufuukai.or.jp/

今回発表の事業所やサービスの紹介	浴風会は、大正 14 年に関東大震災の被災高齢者の援護を目的に設立された高齢者保健・医療・福祉の総合施設です。特別養護老人ホーム南陽園は昭和 46 年に定員 100 名で開設され、平成 3 年の改築後は定員 254 名（内ショートステイ 12 名）の 5 階建て施設となりました。従来型施設で、グループケアを提供しています。
------------------	--

《1. 研究前の状況と課題》

当園5階の認知症高齢者が生活されるフロアでは、4年前から認知症緩和ケアと言われるタクティール®ケアを取り入れている。

しかし、他の階には認定資格取得者がおらず、昨年度、法人内3特養の共同研修としてタクティール®ケアの講習会を開催し、当園では9名のケアワーカーが認定資格を取得した。

今年度、タクティール®ケア講習修了者を中心にしたタッチケアの提供を年間目標に定め、各階で取り組むことにした。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

タクティール®ケアは、手を使って相手の背中や手足を柔らかく包み込むように触れることで、心地良さや安心感などをもたらすスウェーデン発祥のケアで、認知症高齢者に対する効果については、アクティブ福祉 in 東京 '10で5階のスタッフが研究発表を行っている。

今回も同様に、ご利用者がリラックスできることを目標に取り組んだ。

《3. 具体的な取り組みの内容》

各階でご利用者を決めて、実施することから始め、落ち着かないご利用者がいらした時は、都度実施し、ご利用者の変化を観察した。

また、職員に対して現在タクティール®ケアをどの程度理解しているかを、研究前と後でそれぞれアンケートにより調査した。

《4. 取り組みの結果と考察》

タクティール®ケアを実施しているご利用者からは、「気持ちが良い」「気持ち良さに眠くなってしまう」などの声があった。

しかし、まだ根拠となり得るデータ収集までには至っておらず、今後の課題となっている。

一方職員のアンケートからはタクティール®ケアの具体的な内容・効果への理解が深まっていることが分かり、それに合わせ複数の職員から自分も習得してみたいといった積極的感想や、導入に向けての具体的な問題点や解決の為の意見が聞かれる等の成果が表れた。

職員アンケートの結果も踏まえ、継続してタクティール®ケアに取り組み、ご利用者への効果等をまとめていく。

《5. 倫理的配慮に関する事項》

本ポスター発表を行うにあたり、発表の目的・方法をご本人及びご家族に口頭で説明し、同意を得た。

不同意による不利益がないこと、発表に際しては写真を使用すること、写真は本発表以外に使用しないことなどの説明を行った。

【メモ欄】